

研究課題 (テーマ)	県内定着率と大学院進学率の一体向上を目指した 「授業での県内企業研究紹介」と「県内企業との共同研究紹介」		
研究者	所属学科等	職	氏名
代表者	機械システム工学科	教授	中川慎二
	機械システム工学科	講師	木下貴博
	機械システム工学科	准教授	畠山友行
研究結果の概要			
<p>大学院進学率を向上させながら、卒業・修了後の県内定着率を向上させることを目的とし、本学大学院を修了後に県内企業に就職した技術者を招き、講義科目内で講演していただいた。3つの科目において、3企業から4技術者を招いた。1年生の必修科目「機械製図」、2年生の専門科目「流体機械」および「材料力学3」である。講義内容に関連する県内企業の研究・製品・業務等について講演していただいた。普段の講義と企業でのものづくり・仕事との関連を知ることで、講義内容への関心が大きく高まった。</p> <p>講演では、企業の技術や強みを紹介していただいた。県内企業の技術力の高さについて、学生からは驚きの声が上がった。県外出身学生にはなじみのない企業もあったが、講義受講後には関心が高まった。さらに、大学院での経験や進学で得たものについて話していただいた。大学院進学について考えるきっかけとなった。</p> <p>これまでの同様の取り組みを受けてきた新規卒業生にアンケートを実施した。この取り組みがきっかけとなり院進学したものがおり、効果が認められた。県内企業に対しては関心が高まったものの、就職先の地元志向が強いことが確認された。一方で、就職先の選定にあたって福利厚生を重視するものが多いなどの結果を得た。大学では県内企業への接触機会を増やす一方で、企業でも学生が魅力を感じる職場環境を作り出していただくことが重要である。県内企業との連携を強め、学生に選ばれる企業を増やす努力を継続したい。</p>			
今後の展開			
<p>取り組みを継続する。R3年度に開催される富山県ものづくり総合見本市に多くの学生を参加させるなど、県内企業と学生との接触機会を増やす努力を継続する。</p> <p>企業の若手技術者の学生が、気軽に交流する機会などを創出することを目指す。</p>			